

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	5	建物の立地条件上正面玄関の施錠を行っている。具体的には、目の前に県道が通っており交通量も激しく重大な事故の可能性がある。また帰宅願望や不穏時に一人で出て行かれる事を予測しての施錠となっています。	入居者が外に出たい時に出れるような環境の整備。立地条件上、玄関の扉を常に開放するのは困難であるので拘束しているような印象を持たれない環境を作る。	職員の見守りが出来る環境を作り、自由に玄関からの出入りが出来るような環境・時間帯を設けます。また、入居者が外出したい時には職員が直ぐに対応できるような業務の組み立てをしていきます。	6ヶ月
2	13	災害時に近隣の住民等の避難場所として活用した場合に現状の備蓄品では足りない状態です。	災害時等が発生した場合、入居者・近隣の住民がライフラインが復旧するまでの数日間過ごせる備蓄品を確保する。	実際に災害時の訓練を実施し、非常時にどれだけの備蓄をすれば良いかを把握し、住民等避難場所として活用できるように施設全体で取り組み、管理栄養士等と相談しながら、備品を補充して行きます。	6ヶ月
3	15	グループホームでは職員と利用者が一緒に食事を楽しむことが理想とされています。食事時は職員が一人となってしまいますが、介助者や見守りの人数を手厚くする事を、今後検討して行くことが期待されます。	入居者、職員とが一緒に食事を摂り、楽しい食事時間になるように努め、楽しい食事の時間が過ごせるような環境を作る。	入居者のADL等の低下により介助者が増えており、入居者と一緒に食事が3食通して食べれない状況であるので、職員の配置の多い昼食から入居者と一緒に食事を摂れるよう業務調整を行っていきます。	6ヶ月
4	1	開設後2年弱ですが、デイサービス等の複合型施設として地域との接点も多く、引き続き理念の実践に努め、地域に開かれ、地域と共に生きる施設に向け、着実に歩いていくことが期待されます。	今よりも、地域との交流に努め法人理念ののっとり、施設運営をしていく。	地域での催事事参加や、法人全体で取り組んでいる奉仕活動を通じて法人理念の実行出来るよう努めていきます。	6ヶ月
5					0ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。